

総領事館便り7月号

★草の根・人間の安全保障無償資金協力案件完成式・引渡し式典の開催

令和3年度草の根・人間の安全保障無償資金協力「東ジャワ州スラバヤ市立スワンディ病院における医療機材整備計画」引渡し式典が、6月14日、エリ・チャフヤディ・スラバヤ市長出席の下、スラバヤ市政府庁舎で開催されました。

草の根・人間の安全保障無償資金協力は、人間の安全保障の理念を踏まえ、開発途上国における経済社会開発を目的とし、地域住民に直接裨益する、比較的小規模な事業のために必要な資金を供与するものです。

本案件において、在スラバヤ日本国総領事館は、NGO 団体「スラバヤ・ロータリークラブ」を通じて、スラバヤ市立スワンディ病院に対し、移動式人工呼吸器、生体情報モニター、シリンジポンプ及び輸液ポンプを供与しました。新型コロナウイルスの患者はもちろんのこと、新型コロナウイルス収束後も他の病気の患者に使用することができます。医療機材は、当地でオミクロン株が流行していた時期に病院に供与され、使用されてきましたが、6月に正式に引渡し式典が行われ、同市長より日本に対して感謝の意が述べられました。



(左：エリ・チャフヤディ・スラバヤ市長執務室での引渡し式典)



(右：スワンディ病院集中治療室にて実際に医療機材が使用されている様子を視察)

★国際交流基金巡回展「妖怪大行進」の開催

既に御案内のとおり、7月13日から8月2日まで、11月10日工科大学（スラバヤ工科大学／ITS）クリエイティブデザイン・デジタルビジネス学部（Fakultas Desain Kreatif dan Bisnis Digital）において、国際交流基金巡回展「妖怪大行進：日本の異形のものたち」を開催します。本展覧会は、日本妖怪博物館（三次ものけミュージアム）名誉館長の湯本豪一氏監修により、古くから絵巻物や錦絵などに表現されてきた日本の妖怪文化を、体系的に紹介します。江戸時代の《百鬼夜行絵巻》

や、歌川国芳の《土蜘蛛襲来図》、葛飾北斎の《百物語》などの浮世絵作品から、和本、おもちゃ、そして現代の『ゲゲゲの鬼太郎』やアマビエグッズへと、次第に民衆にとって身近になるメディアの変遷とともに、妖怪のイメージが怖ろしいものから親しげで可愛らしいものへと変化する様子と、人々の想像力に生き続ける妖怪文化の魅力を紹介します。

また、巡回展の他、ITS 学生による「タイダイ染めワークショップ（7月16日）」、「粘土ワークショップ（7月30日）」、バザーや写真撮影ブース（巡回展開催期間中、毎日）も用意していますので、EJJC 会員の皆様も是非御参加ください（巡回展の展示作品の説明や ITS 学生のワークショップは英語となりますので、予め御了承ください。）。

日時：2022 年 7 月 13 日（水）～8 月 2 日（火） 9：00～17：00

会場：Institut Teknologi Sepuluh Nopember (ITS)

Gedung Desain Interior DI.101-DI.102

（インテリア・デザイン棟 DI.101-DI.102 教室）

※入場無料、事前登録不要。

The poster is for an exhibition titled "YOKAI PARADE Supernatural Monsters from Japan". At the top left, it says "PAMERAN" in a red stamp-like font. The main title "YOKAI PARADE" is in large, bold, blue letters, with "妖怪パレード" in red Japanese characters below it. To the right of the title, it says "Supernatural Monsters from Japan" in a smaller, blue, italicized font. Below the title, there is a grid containing illustrations of various Japanese yōkai, including a Kappa, a Tengu, and a Kikyo. To the left of the grid, there is a vertical text "The Night Parade of One Hundred Demons Picture Scroll". Below the grid, it says "SURABAYA" in white letters on a blue background. On the right side of the poster, the dates "13 Juli" and "2 Agustus 2022" are listed, followed by the times "09:00" and "17:00 WIB". Below this, the location "Institut Teknologi Sepuluh Nopember" is written, followed by "Departemen Desain Interior" and "Gedung Desain Interior DI.101-DI.102". A red box contains the text "GRATIS! TERBUKA UNTUK UMUM". At the bottom, there are logos for "JAPAN FOUNDATION 国際交流基金", "ITS Institut Teknologi Sepuluh Nopember", and "EMBASSY OF JAPAN INDONESIA".

(了)